

GM では、2010年の7月6日——六道嵐の誕生日でしたね？

六道嵐 ああ。

GM 六道家襲撃事件は、この日に起きました。あなたの記憶は曖昧ですが、燃える屋敷と両親、妹の死体を見たのは覚えています。

六道嵐 犯人は？

GM さあ？ 思い出せませんね。

六道嵐 荒神憑きの襲撃があったんだよな？

GM はい。公安零課や退魔師協会は、そう判断しています。

六道嵐 ……ふうん？

GM とまあ、そんな過去を夢に見るわけですが……最近、あなたは妙な記憶に悩まされています。

六道嵐 記憶？

GM 成長した六道曇とともに生活している、という記憶が、頭に浮かんでは消える、という繰り返しです。

六道嵐 死んでるんだよな？

GM ええ、間違いなく。現に、マンションの自宅には位牌や遺影がありますし、あなた自身、成長した六道曇の姿を見たことはありません。

六道嵐 ……最近になって、ってことか？

GM ええ、はっきりと意識したのは、2019年になってからです。しかし、こういった謎の記憶は、今までも何度か起きています。

六道嵐 ほう？

GM たとえば、2011年の〈DUST〉設立時、あなたは「あれ？〈DUST〉って、なかったよな？」という不思議な記憶——というか、デジャヴのようなものを感じました。

六道嵐 ほおん……？

GM そんなある日、2019年の5月、あなたは調停者会議に呼び出されます。

六道嵐 呼び出されたぞ。

GM ホテルニュー伐上の30階にある六号会議室であなたを出迎えたのは、天道銀子ともう一人、見知らぬ少女でした。

六道嵐 んあ？ 誰？

GM／銀子 やっほー、嵐くん。来てくれてありがとー。

六道嵐 ……あー、銀子さんは癒されるぜ。「怪異事件ですか？」と訊くが？

GM／銀子 そだよー。

六道嵐 「……で？ そちらのお嬢さんは誰です？」俺より年下？

GM ええ、15歳か16歳くらいの銀髪の少女です。

六道嵐 銀髪美人が二人……。

GM ああ、天道銀子も銀髪ですが、この二人が親戚とか血が繋がってるとか、そういうのはないです。

六道嵐 了解、了解。

GM 天道銀子は少女に向かって「こちらが、噂の六道嵐くん」とあなたを紹介します。

六道嵐 ……どうも。

GM で、今度はあなたに「こちらは〈DUST〉の幹部、マルタ騎士団のメロウさん」と少女のことを紹介します。銀髪の少女は前に出て、「メロウ・マクファーレンです。よろしく」と握手を求めてきます。

六道嵐 じゃあ、握手する。

GM では、メロウは「……なるほど。噂に違わぬ実力のようですね。天道さんが信頼なさるのも頷けます」と言います。

六道嵐 あれか？ 握手だけで相手の実力を見抜くやつ？

GM そうそう、そんな感じですよ（笑）。天道銀子は嬉しそうに「でしょー？」と返します。

GM／メロウ ええ、想像以上です。これならば、奴らに対抗することも難しくないかも知れません。

六道嵐 ？

GM／メロウ 私は、「十人の騎士団（テン・オーダー）」から密命を受けて、この街へとやってきました。

六道嵐 「テン・オーダー」……確か〈DUST〉の監視役？

GM／メロウ ええ、平時の任務は〈DUST〉の監視です。適正に任務が遂行されているか、支部に本部の意思が反映されているか、などを見ています。

六道嵐 ……ということは、この街の〈DUST〉かなんかで不正が見つかった、みたいな話？

GM／メロウ それに近いでしょう。敵は〈ドミノオン〉です。そして、〈DUST〉内部にも奴らがいる。

六道嵐 〈ドミノオン〉かあ……。

GM／メロウ 最近になって、この街に奴らが集まってきている、という情報を得たのです。どうやら、“ある共生武装”がこの街にあるらしくて……。

六道嵐 “ある共生武装”？

GM／メロウ ええ、それが、かつてバチカンに保管されていた〈クロノバイザー〉という共生武装です。

六道嵐 〈クロノバイザー〉……名前からして時間に関係した何かだな？

GM ええ。〈クロノバイザー〉自体は現実の歴史にも名前があります。過去の映像を映し出す装置として知られておりますが、実在するかどうかは不明、というオカルティックな方面での話です。

六道嵐 ほほ〜ん？ それが、共生武装なわけね。で、なんでそれが伐上市にあるんだ？

GM／メロウ 分かりません。そもそも、本当に〈クロノバイザー〉があるのかの裏づけは取れていないのです。マルタ騎士団も、それに関しては懷疑

的でした。

六道嵐 ふむ？　だが、キミはここに派遣された。何かしらの根拠があるわけだな？

GM／メロウ ご推察の通りです。天道さんにも話しましたが、すでにローマ教皇庁は執行者たちを伐上市に派遣しています。

六道嵐 バチカンが？　確か、専門の〈覚醒者〉組織がある設定だっけ？

GM はい。『鬼御魂』に記載されていますね。

六道嵐 そこが派遣された、と？

GM／メロウ そうです。しかし、この派遣された執行者が問題でして……。

六道嵐 問題？

GM そういうとですね、メロウが一枚の写真をあなたに渡します。

六道嵐 受け取って、見るが？

GM 写真には、見覚えのある男が写っています。

六道嵐 誰だ？

GM／メロウ “七生剣冶”。バチカンの執行者であり、退魔師協会の裏切り者——そして、あなたの師匠で間違いありませんね？

六道嵐 え、そうなの？

GM ええ、七生剣冶は、あなたに剣術を教え込んだ人物で、かつて退魔師協会に所属していました。しかし、数年前に退魔師協会の〈覚醒者〉数名を殺害し、姿を消したのです。

六道嵐 はあ……なんでまた？

GM／銀子 信仰に目覚めたから、らしいよ？

六道嵐 はい？　信仰？

GM／メロウ 執行者の中の一部の過激派に、在野の〈覚醒者〉を悪魔と認定し、狩る者たちがいるのです。七生剣冶も、そのうちの一人といわれています。

六道嵐 それが俺の師匠？　マジで？

GM まあ、表向きは、悪魔に永遠の安息を……といった感じです。

六道嵐 信仰とはいえ、はた迷惑な……。

GM で、退魔師協会としては中々に難しい問題でして……信仰とはいえ、所属していた〈覚醒者〉を殺されたのは事実。しかし、相手はバチカンの専門組織。下手に手を出すわけには当然いかず、だからといってメンツというものもあり、放置するわけにもいかず……そこで、出された妥協案が、あなたです。

六道嵐 はは～ん……？　つまり、今回の件で立場的に対立した場合、倒してしまっても構わんのだろう？　みたいな話か。

GM／銀子 そそ。

GM／メロウ 加えて言うのなら、本来、マルタ騎士団としてはバチカンの意に反することはしません。しかし、ここにさきほどの〈ドミノオン〉が絡んでくると話は変わってくる。

六道嵐 俺の師匠が〈ドミノオン〉の可能性があると？

GM／メロウ ご明察です。七生剣治には「ドミノオン」と接触した疑いがかけられています。まだ明確な証拠は見つかっていないものの、「十人の騎士団」としては彼が〈ドミノオン〉であるものとして動いているのです。

GM／銀子 それで、調停者会議としても渡りに船、〈ドミノオン〉は許せないよね……という建前のもと協力することになったんだ。

六道嵐 建前って言っちゃった！？

GM まあ、退魔師協会のメンツを立てつつ、バチカンとは敵対する気はないよ、というアピールです（笑）。

六道嵐 ……もしかして、〈クロノバイザー〉については、わりとどうでもいい？

GM ええ、調停者会議や〈DUST〉にとっての問題は〈ドミノオン〉ですから。しかし、「ドミノオン」が〈クロノバイザー〉を求めて伐上市に集まっているという情報は確かなようです。

六道嵐 「……じゃあ、俺は彼女に協力すればいいんですね？」と銀子さんに確認するが？

GM／銀子 そう。お願いできるー？

六道嵐 「いいですよ、やります」まあ、俺がフリーランスってのもあるのかな？

GM ええ、さらに言えば、家柄的に退魔師協会も納得している、というのが大きいでしょう。「六道嵐ならいいか〜」みたいな？

六道嵐 八武衆の分家だからな、一応。

GM／メロウ もう一つ、話があります。

六道嵐 ん？

GM／メロウ 先ほど言った、〈DUST〉内部の〈ドミノオン〉についてです。

六道嵐 ああ、言ってたな。

GM／メロウ 今回、私が派遣されたのは、七生剣治の件だけではなく、むしろそちらがメインといえるでしょう。

六道嵐 メイン？

GM／メロウ 七生剣治の件は、退魔師協会のメンツを立てるために、調停者会議を仲介人として交渉することで、不要な衝突を避ける——という理由であなたに協力してもらうのですが……。

六道嵐 うん。

GM／メロウ それは、〈DUST〉内部の〈ドミノオン〉が、七生剣治と繋がっている可能性を考慮しての判断なのです。

六道嵐 あ〜、まあ、そうか。

GM／メロウ なので、こちらとしましては、ぜひ、〈DUST〉の裏切り者を探す手伝いもして頂きたいと思っております……。

六道嵐 うん、いいよ。

GM あれ？ そんなあっさり？（笑）

六道嵐 ついでだろ？ いいよ。それに、どうせシナリオ的に絡むんだろ？

GM 身も蓋もね～。

GM／メロウ え～、伐上市の〈DUST〉支部がすでに〈ドミノオン〉に支配されている可能性を考慮して、私は単独で動かなくてはならず、協力者が欲しいと思っていたのですが……え？ 説明は不要？ さいですか（笑）。

GM／銀子 それが今回の依頼ってわけだよ、嵐くん。

六道嵐 目的は二つか？『七生剣冶を倒す』『〈DUST〉内の〈ドミノオン〉を探す』。

GM あとは、『共生武装〈クロノバイザー〉の確保』ですね。

六道嵐 眉唾なんだろ？

GM では、天道銀子があなたにそっと耳打ちします。

GM／銀子 ……もし機会があったら、こっそり確保しちゃってよ。

六道嵐 （ひそひそ）こっそり？ 出し抜く気ですか？

GM／銀子 まあね～。散々こっちの引き渡し要求つっぱねるし、これくらいいいよね？

六道嵐 引き渡し要求？ 七生剣冶のですか？

GM／銀子 そうだよ～、実は前から公安零課と退魔師協会がやってたんだ～。まったく相手にされなかったけど……。

六道嵐 ……それはまた何で？

GM／銀子 こっちを下に見てるからじゃない？ さっき彼女が言っていた、わたしたち〈覚醒者〉を悪魔認定する派閥が関係しているのかもね～。

六道嵐 七生剣冶も〈覚醒者〉なのに？

GM／銀子 そ。だから、彼女——メロウさんは彼を〈ドミノオン〉だと思っているんじゃない？ 教会の中にも潜り込んでいるみたいだしね。

六道嵐 ……その過激派が「ドミノオン」かもしれない、と？

GM／銀子 どうも、そうっぽい。まあ、今回の件に絡んでくるかもしれないから、覚えておいて。

六道嵐 了解です。

GM／銀子 うまく〈クロノバイザー〉を確保できれば、取引材料に使えるし。頼んだよ、嵐くん。

六道嵐 「はい、銀子さん」意外と腹黒いな（笑）。

GM いや、まあ、これくらいじゃないと調停者会議のエージェントなんて務まらないんでしょう、たぶん。

六道嵐 ……思ったんだが、〈クロノバイザー〉がバチカンにあったのは確かなんだな。

GM そうです。加えて言うのなら、所在が分からないのも確かなようです。

六道嵐 いつ頃なくなったとか、分かるのか？

GM／メロウ 公式文書によれば、2009年に紛失に気づいた——となっています。

六道嵐 2009年……世界同時群発地震があった年だな？

GM ええ、ほぼ同時期のようです。

GM／銀子 あ、あとコレを上げる。

六道嵐 ん？

GM そう言って天道銀子が渡してきたのは、腕輪です。

六道嵐 これは……？

GM／銀子 〈ドミニオン〉の《絶対の隷属》を防ぐ腕輪だよ。必要でしょ？

六道嵐 ああ、なるほど。「ありがとうございます」さっそく装着する。あ、もしかして上限なしのクレジットカード機能付き？

GM え？ ああ、じゃあ、ついているということ。

六道嵐 よっしゃー！ 贅沢するぞー！（笑）

GM うん、まあいいですけどね（苦笑）。てゆーか、アンタお金には困ってないでしょーに。

GM／メロウ それでは……えーと、何とお呼びすればいいのでしょうか？

六道嵐 ん？ ああ、名前？ 嵐でいいよ。

GM／メロウ では、私のことはメロウとお呼びください。

六道嵐 ああ、よろしく、メロウ。

GM／メロウ それでは、さっそく行きましょう、嵐。

六道嵐 ？ 行くって、どこに？

GM／メロウ “伐上教会”です。

六道嵐 教会に？

GM／メロウ 七生剣治は今、伐上教会にいるはずなので、会いにいきましょう。

六道嵐 今から？ 戦闘になったりしないか？

GM／メロウ それならば好都合です。その場で倒し、《魔種吸引》すれば目的の一つは達成です。

六道嵐 あー、あれ？ こいつ結構、猪突猛進？

GM／メロウ ……まあ、その場で戦闘になることはないでしょう。しかし、こちらの立場を明らかにすれば何らかのリアクションはするかもしれません。

六道嵐 挑発する……ってこと？

GM／メロウ ええ、遠慮する必要性は全くありませんので。

六道嵐 あー、はい。黙ってついていく（笑）。

GM／銀子 行ってらっしゃーい！ がんばってねー。

GM ——と、天道銀子の激励の声を背に、あなたとメロウは調停者会議を後にするのでした。

* * *

六道嵐 で？ 移動はどうする？ 俺、車なんだけど。

GM／メロウ では、乗せていただいても構いませんか？

六道嵐 あー、うん、もちろんだが……もしかして徒歩で行く気だったとか？

GM／メロウ いえ？ 空を飛んで行こうと思っていましたが、なにか？

六道嵐 いやあ、真昼間から空を飛ぶのは、さすがの俺でも止めるなあ……（笑）。

GM／メロウ そうなのですか？ 欧州ではこれが普通でしたが……。

六道嵐 嘘をつくな、嘘を（笑）。

GM いやいや、欧州広いですからね。田舎のほうだと普通に空を飛んだりしていたんですよ、きっと。

六道嵐 ちなみに、悪魔寄生体？

GM ええ、アルバレスト10LVです。

六道嵐 優秀、優秀。

GM で、あなたたちは伐上教会に移動します。

六道嵐 ブロロロロ〜。

GM 教会には、あなたの知り合いがいます。

六道嵐 七生剣冶か？

GM いえ、教会の神父ユリウスです。

六道嵐 ほう？ 神父さんと知り合いとな？

GM 悪友的なポジションですかね。気が合う友人というか。ちなみに、貴重な情報源です。

六道嵐 じゃあ、怪異事件が起きると、色々と情報を聞きに来るって感じかな？

GM ええ、有料でね。

六道嵐 カネとるのかよ！？

GM／ユリウス神父 そりゃあ、ねえ？ うちって信仰と商売がセットだからあ。

GM と、なんか誤解されそんなことを平然と言う神父さん。

六道嵐 創作物の神父って、ろくな奴いないよな（笑）。

GM／メロウ おや？ ユリウス神父とは知り合いでしたか。

六道嵐 え、ええ、まあ。

GM／ユリウス神父 これはこれは、メロウ氏。さきほどぶりですね。まさかウチの嵐と親しい関係だったとは驚きました。

六道嵐 べつに親しくはない。仕事だ。あと「ウチの嵐」っていうな、気持ち悪い。

GM／ユリウス神父 わかってるさ。君はいつも仕事仕事、荒神憑き殺す殺す、だもんねえ（ニヤニヤ）。

六道嵐 くっ……（イラッ）。

GM ちなみに、ユリウス神父はモリオン10LV。怪我したら頼ってね、ってことで。

六道嵐 金取るんだろ？

GM／ユリウス神父 君相手なら、そうだよ。貧しい者には施しを、富める者には見返りを——ってね。

六道嵐 エセ神父め。

GM／ユリウス神父 いいじゃな〜い。君、お金に困ってないんでしょ？
少しくらいは恵んでくれてもさあ。

GM／メロウ それよりも、七生剣冶はいますか？ さきほどは留守でしたが……。

六道嵐 前にも来てたのか！？

GM／メロウ ええ……なにか問題でも？

六道嵐 あ〜……うん。戦闘になったら一人で戦うつもりだったのか、こいつ。

GM／ユリウス神父 ……彼女、まだ若いからねえ。性格的にも絶対ノーキンだよ、間違いない。

六道嵐 ……で？ 七生剣冶は？

GM／ユリウス神父 随分と冷たいじゃないか、師匠なんだろ？ 君の。

六道嵐 突然降って湧いた師匠だからなあ……。

GM そんなボーフラみたいになんて言わなくても……（汗）。

GM／ユリウス神父 けど、まあ、まだ帰ってきてないよ。

GM／メロウ そうですか……。

六道嵐 どうする？

GM／メロウ 困りました。特にやることはありません。

六道嵐 ……まさかのノープラン？

GM／メロウ え？ 七生剣冶に会って挑発→七生剣冶、怒る→戦闘——という完璧な計画では？

六道嵐 あ、うん。はい。こいつ、さっき戦闘はないとか言ってたくせに（笑）。

GM では、ユリウス神父があなたに同情の目を向けてくれますね。

六道嵐 おい、その目はやめろ、えぐりたくなるだろ？

GM／ユリウス神父 怖っ。

六道嵐 それよりよー、ユリウス。

GM／ユリウス神父 なんだい？

六道嵐 〈クロノバイザー〉について、どう思う？

GM／ユリウス神父 また、ざっくりとした質問だねえ（苦笑）。

六道嵐 正直な感想、厄ネタだよな？

GM／ユリウス神父 まあ、そりゃあねえ。過去を見れる共生武装だから、欲しい人は欲しいんじゃない？ 君だって、そうだろ？

六道嵐 ……なんのことだろうな？

GM／ユリウス神父 聞いた話によれば、九年前の事件、犯人が分かっているみたいじゃないか……？ 〈クロノバイザー〉を使えば、分かるかもしれ

ないよ？

六道嵐 ……………。

GM／メロウ なんの話です？

六道嵐 いや……こちらの話だ、気にしないでくれ。

GM／メロウ そうですか。神父、七生剣治に伝言を頼めますか？

GM／ユリウス神父 なんだい？

GM／メロウ 「あなたが〈ドミニオン〉なら倒します。首を洗って待っていてください」と。

六道嵐 おい（笑）。

GM ユリウス神父、苦笑。

六道嵐 え？ マジでこいつ、こういう性格なん？

GM 可愛いでしょ？ 私のヒロイン像の一つなんですが……。

六道嵐 あ～、トラブルメイカーがお好きなんですか、っと。

GM FF7のユフィとか、いいよね。

六道嵐 ……実際、メロウの目的は〈ドミニオン〉を倒すこと、でいいのか？

GM はい、そうですね。

六道嵐 ふむ？ そう考えると、これでいいのかな？

GM そう言うと、メロウはさっさと車に戻っていきます。

六道嵐 ……伝言、伝えるのか？

GM／ユリウス神父 僕は中立だからね。そのまま伝えるよ。

六道嵐 グッバイ、ユリウス。

GM／ユリウス神父 やめてくれる？（笑）あの人、怖いんだから。

六道嵐 師匠？

GM／ユリウス神父 そうだよお。さすがは嵐の師匠だねえ。凄み、というか、覚悟が決まりすぎている。抜き身の刃と会話しているみたいだったよ。

六道嵐 あ？ おまえ、刃と会話したことあるんか？ いつ？ どこで？

GM／ユリウス神父 面倒くさいなあ、もう！（笑）

六道嵐 ま、せいぜい気をつけな。俺の師匠ってことは、いきなりズンバラリンされるかもしれないしな。

GM／ユリウス神父 通り魔か何かかな？（笑）

六道嵐 もっと性質が悪いぞ。シリアルキラーだと思っておいたほうがいい。

GM ひどい（笑）。

六道嵐 じゃあな、邪魔した。

GM では、去り際、あなたの背中にユリウスが声をかけます。

GM／ユリウス神父 そうそう、〈クロノバイザー〉で思い出したけど……。

六道嵐 ？

GM／ユリウス神父 最近、遺跡地区が面白いことになってるみたいだよ？

六道嵐 面白いこと？

GM／ユリウス神父 何か古代の遺物が発掘されたらしい。

六道嵐 ……それが？

GM／ユリウス神父 発掘したのは、宝城財閥の研究グループらしいんだけど、妙な動きをしていてねえ。

六道嵐 妙な動き？

GM／ユリウス神父 ここ最近、僕らの周りを嗅ぎまわる機械人形がいるんだよ。

六道嵐 機械人形……もしかして、サイボーグ？

GM／ユリウス神父 そうそう、それぞれ。君も知ってると思うけど、宝城財閥の私設軍隊“バルキリー”……だと思う。

六道嵐 ほう？ 何を嗅ぎまわっているんだ？

GM／ユリウス神父 さあねえ……？ 特別、害意や悪意のようなものは感じられなかった。ただ、純粹にこちらを探っている感じだったよ。情報収集？ みたいな。

六道嵐 ふむ……？

GM／ユリウス神父 もしかすると、〈クロノバイザー〉の件と関係あるかもよ？ ちょうど、君の師匠が来たタイミングと被るし。

六道嵐 教会を探っていたのか？

GM／ユリウス神父 僕の感じた限りだと、そうだね。

六道嵐 あと、聞き忘れていたんだが……。

GM／ユリウス神父 なんだい？

六道嵐 ユリウス、おまえ、七生剣冶が〈ドミノオン〉かもしれないってのは知ってたか？

GM／ユリウス神父 ああ、有名な話だからね。

六道嵐 有名？

GM／ユリウス神父 うちさあ、一枚岩じゃないんだよ。ま、どこも一緒だと思うけど。

六道嵐 まあ、な。

GM／ユリウス神父 「ドミノオン」ってさあ、歴史が長いわけ。うちの上層部？ みたいなところにも、かなり食い込んでいるんじゃないかなあ、とは専ら言われてることだね。

六道嵐 今更、騒ぐほどのことでもないってか？

GM／ユリウス神父 そうそう。七生剣冶のほかにも、〈ドミノオン〉だと目されている聖職者って結構いるんだよ。弱い奴は排除されるけど、強い奴はそうもいかないからねえ。

六道嵐 確かに。

GM／ユリウス神父 そういう意味でもさ、今回の話って気にならない？

六道嵐 ん？

GM／ユリウス神父 〈DUST〉とかマルタ騎士団の思惑だよ。

六道嵐 思惑？ 〈ドミノオン〉は敵だから倒す、だろ？

GM／ユリウス神父 はあ……いつから君まで脳筋になったのさ？ 違うよ、

連中、別の思惑があるのさ。

六道嵐 別の思惑？

GM／ユリウス神父 君に依頼したのだって、たぶん偶然じゃないよ？

六道嵐 ……………というと？

GM／ユリウス神父 〈D U S T〉とマルタ騎士団のテコ入れ、だと僕は思ってる。

六道嵐 テコ入れ……。

GM／ユリウス神父 ほら？ 対外的な見栄ってあるじゃない？ いやまあ、これもどこも一緒なんだろうけどさあ。バチカンの中に〈ドミニオン〉がいるって分かっているのに何もしないのは、どうなのよ？ ってさ、思われたら嫌でしょ？

六道嵐 なるほど。つまり、〈ドミニオン〉であると目される七生剣治を倒すことで、対外的に「仕事してるんだぜ」とアピールできる、みたいな話か？

GM／ユリウス神父 そうそう。それぞれ。君はそれに利用されちゃったってわけさ。

六道嵐 ……………面倒な話だな。

GM／ユリウス神父 僕もそう思うよ。大体、そういう人間関係の機微って大の苦手なの、僕。シナリオにしたいくないんだよねえ。

六道嵐 それはおまえの意見だろ、GM（笑）。

GM ええ、まあ、本音ですが。

六道嵐 まあいいや。だが、俺のやるべきことに変わりはない。

GM／ユリウス神父 ま、君ならそう言うと思ったよ。だから、一応言っておくけど、なんか面倒なことになったら声をかけてよ。こう見えて僕、結構、顔が広いからさ。役に立つと思うよ？

六道嵐 ……なら、そうならないよう祈っていてくれ。

GM／ユリウス神父 ははは、了解。宝城財閥の件、覚えておいてよ。

六道嵐 バルキリーねえ……ま、覚えておくわ。そっちもな。

GM では、ここでのシーンは以上ですね。

* * *

六道嵐 じゃあ、車に戻る。

GM では、車に戻ると、メロウが電話をしています。

六道嵐 電話？

GM／メロウ ——分かりました。今から向かう、と先方にお伝えください。それでは。

GM と、メロウは電話を切ります。

六道嵐 ——何の電話か訊いてもいいか？

GM／メロウ ええ、どうやら私に会って話がしたいという人がいるようで

す。

六道嵐 七生剣冶ではなくて？

GM／メロウ はい。申し訳ありませんが、「新伐上駅」までお願いできますか？

六道嵐 駅前？

GM／メロウ ええ。

六道嵐 いいけど、目的地を教えてください、そこまで送るぞ。

GM／メロウ ふむ……？ では、「宝城ファクトリー支社ビル」までお願いします。

六道嵐 宝城ファクトリー？ それが電話の相手？

GM／メロウ いえ、電話はうちの職員からです。どうやら、うちの支部に直接連絡があったようで……。

六道嵐 ふうん……？ じゃ、行くか。宝城ファクトリーの場所は知っているのか、俺。

GM ええ、知っているでしょう。大企業で、わりと有名なので……では、「宝城ファクトリー支社ビル」です。車が到着すると、メロウが唐突にこういいます。「そうだ、嵐も来ませんか？」

六道嵐 俺？ いやあ……それって、今回のことに関係あるのか？

GM／メロウ ええ、詳しくは知りませんが、今回の件で話があるらしいですよ？

六道嵐 ふむ？ 俺が参加してもいいのか？ その話し合いに？

GM／メロウ そうですね……調停者会議側の代表という建前なら問題ないでしょう。

六道嵐 ……じゃあ、行く。車を適当に駐車場に停めて、ついていくぞ。

GM では、「宝城ファクトリー支社ビル」の中に入り、受付で何階のどこそこで社長がお待ちです、みたいなことを言われます。

六道嵐 社長？

GM／メロウ 宝城イリスさんです。

六道嵐 え？ 本人？

GM ここで嵐、【幸運】あるいは〔社会〕判定をどうぞ。目標値は「12」です。

六道嵐 （ころころ）「15」成功だ。

GM では、嵐は宝城イリスのことを知っています。宝城財閥の令嬢で、15歳のときにアメリカの大学を首席で卒業。16歳で宝城ファクトリーの社長に就任——という才女です。見た目も知っています。ニュースなどで見たのでしょうか。

六道嵐 ほうん？ 社長御自らとはねえ……しかも、今回の件について話すのか……何なんだろうな？

GM／メロウ さあ？ ただ、私のことも知っていましたし、それなりに情報収集をしているのでしょうか。ある程度の事情は察していても不思議ではあ

りません。

六道嵐 ——あ〜、そういえば、バルキリーの話してなかったな。ここでメロウにさっきの話をするぞ、いいか、GM？

GM あ、はい。いいですよ。では、エレベーターの中で説明した、ということにしましょう。

六道嵐 ああ、「かくかくしかじか」と。

GM／メロウ バルキリー……サイボーグ部隊ですか……やはり、それなりに情報を掴んでいるようですね。

六道嵐 しかし、宝城財閥が今回の件にどう関わるんだ？ 別にバチカンやマルタ騎士団と繋がりがあるわけじゃないだろ？

GM／メロウ いえ、今回の件については分かりませんが、〈DUST〉との関わりはありますよ？

六道嵐 え？ そうだっけ？

GM／メロウ ええ。〈DUST〉の設立に関わったセラフィムの有力スポンサーでしょう？ 宝城財閥は。

六道嵐 あ〜、そうだったな、そういえば。

GM／メロウ 私のことや〈クロノバイザー〉のことも、おそらくですが、セラフィム経由で知ったと思われます。

六道嵐 ふむ？ なら、別段、不思議ではないのか。

GM チンッ——と、エレベーターが目的の階に到着し、扉が開きます。そして、あなたとメロウは、受付に言われた部屋に向かいます。まあ、「社長室」とか「応接室」とか、そういう感じの部屋だと思ってください。

六道嵐 了解。

GM そして、宝城イリスともう一人、執事服を着た男装の麗人があなたとメロウを出迎えます。

六道嵐 男装の麗人？

GM 宝城イリスは、長い金髪をツインテールにした小柄な少女で、こちらはニュースや新聞などで見たとおりです。一方、男装の麗人のほうは初見で、見たことも会ったこともありません。あと、男装の麗人は左目に眼帯をしています。

六道嵐 あ〜、見たことあるやつ（笑）。

GM／イリス ようこそ、メロウ様。本日はお忙しいところ、ご足労頂きましてありがとうございます

GM／メロウ いえ、こちらこそ、貴重なお時間を割いていただいたことにお礼申し上げます。

GM 宝城イリスは、あなたを見てからメロウに目を向けます。

GM／メロウ 調停者会議の代表——というか、今回の件の協力者です。

GM／イリス ……ほう？ 調停者会議の……なるほど。

六道嵐 六道嵐だ、よろしく。

GM／イリス わたしは宝城イリスです。こちらは、秘書の早乙女レイ。

GM 名前を紹介された男装の麗人がお辞儀します。そして、宝城イリスが応接用ソファを勧めると、メロウがソファに座り、会話が始まるのですが…
…嵐も座る？

六道嵐 礼儀的にはそうだが、俺、堅気じゃないし。ソファの後ろ、メロウの護衛みたいにして立っておく。

GM では、向こうの早乙女レイも、宝城イリスの後ろに護衛のように立っています。

GM／メロウ それで、私を呼び出した理由をお聞きしたいのですが……？

GM／イリス ええ、そうですね。実は、用件は二つありまして……。

GM／メロウ 伺いましょう。

GM／イリス まずは……わたくしども宝城財閥は、あなたに協力したいのです。

GM／メロウ 協力？

GM／イリス 今回の件、七生剣冶や〈ドミニオン〉、そして〈クロノバイザー〉のことなど……できれば、共に調査をさせていただけないでしょうか？

GM／メロウ 申し出は嬉しいのですが、調査であるのなら、すでに行っているのでは？

GM／イリス お恥ずかしながら、弊社の調査力はお世辞にも高いとは言えないのです。情報収集にはタイムラグがあり、また、リアルタイムでの状況把握も不可能でして……。

GM／メロウ ……それが、普通なのでは？

GM／イリス 残念ながら、通常よりも遅いのが実情でして……例えば、国式製薬の“人工変異体を用いたリアルタイム通信網”には後れを取っている、といわざるを得ません。

六道嵐 人工変異体の……リアルタイム通信網って何だ？

GM え？ あ〜、そうですね……では、【知力】あるいは[知識：荒神憑き]判定を。目標値は少し高めで「18」くらいかな？

六道嵐 （ころころ）うわ、ファンブル（笑）。

GM 振り直しますか？

六道嵐 そうしよう。（ころころ）「29」成功。

GM 高っ！ そういや「上級」だったわ、こいつ（笑）。

六道嵐 振りなおしてサイコロ増えたのもあるけどな。

GM まあ、では、嵐は聞いたことがあります。植物ネットワークを応用して作られた、国式製薬の植物系人工変異体の通信網のことだろう、と思いました。

六道嵐 実際にどういうもんなんだ？

GM 変異体同士の双方向リアルタイム通信が可能で、特別な機材が必要なく、さらに植物がある場所なら何が起きているかを瞬時に知ることができる、というものです。

六道嵐 便利だな。

GM メロウは「人工変異体……なんですか？」と怪訝そうにしています。それに対し、宝城イリスは、「申し訳ありません。こちらの話です。忘れてください」と返します。

GM／メロウ ……つまり、リアルタイムで情報を得る必要が、あなたがたにはあると？

GM／イリス ええ、情報は命の次に大切ですから。今回の件に関しては、特に。

GM／メロウ よく分かりませんが……協力していただけるというのなら、こちらに断る理由はありません。

GM／イリス ありがとうございます。

GM／メロウ しかし、理由は何でしょうか？ こちらに協力するメリットがあなただたにあるとは思えないのですが……。

GM／イリス いえいえ、メリットもなく一企業が動くわけがございません。もちろん、当社にとってもメリットがあるからです。

GM／メロウ そのメリットについて、お伺いしても？

GM／イリス それが、二つ目の用件でして……。

GM と、イリスは後ろに立つ早乙女レイに視線を向けます。早乙女レイは頷いてから、小さなアタッシュケースを応接テーブルの上に置きました。

GM／メロウ ……これは？

GM／イリス とりあえず、中の物を確認してください。開けて差し上げて。

GM で、早乙女レイがアタッシュケースを開けると、中には一つの魔結晶が入っています。

六道嵐 魔結晶？

GM そして、それを見たメロウは目を見開き驚愕します。

六道嵐 なんだ？

GM というわけで、ここでもう一度、【知力】あるいは[知識：荒神憑き]判定をしてください。目標値は「25」です。

六道嵐 25？ 高いな。（ころころ）「22」わからん。

GM 振り直しは、よろしいですか？

六道嵐 一応、やっとくか。（ころころ）「26」お？ 成功。

GM では、この魔結晶が共生武装〈クロノバイザー〉だと分かります。

六道嵐 え？ は？

GM／メロウ なぜ、これが、ここに……？

GM／イリス やはり、ご存知でしたか……そう、これが〈クロノバイザー〉です。しかし、バチカンや〈ドミノオン〉が探しているものとは別の、ね。

六道嵐 ？ どういうことだ？

GM／イリス これは……先日、当社の研究グループが遺跡地区で発掘作業を行っていた折、発見された遺物なのです。

六道嵐 なんだと？

GM／メロウ 遺跡地区？

GM／イリス ここ伐上市には古代の遺跡が眠っているのです。

GM／メロウ あなたがたが発掘したと？ これを？

GM／イリス はい。これがどういう意味か、分かりますか？

GM／メロウ ……いえ。

GM／イリス つまり、本来なら一つだけしかないはずの〈クロノバイザー〉が二つある——ということです。

GM／メロウ ……そんな馬鹿な。〈クロノバイザー〉は一つだけのはず…
…それだって実在があやふやなのに……。

六道嵐 ……もしかして、教会を探っていたと言うのは……。

GM／イリス おや？ ご存知でしたか。そうです。七生剣冶や「ドミニオン」が“コレ”に気づいたら大変ですから。万が一そうなったとき即対応できるよう、監視させていたのです。

六道嵐 気づかれてはないのか？

GM／イリス ええ。現状は、ですが。

GM／メロウ 〈クロノバイザー〉が二つあると仰っていましたが、もう一つはどこに？

GM／イリス さあ？ そちらのほうは把握できておりません。ただ、バチカンや「ドミニオン」のほかにも、複数の組織が伐上市に来ていることは間違いないでしょう。たとえば、国式製薬とかね。

六道嵐 ……そういや、宝城財閥と国式製薬ってライバル企業だっけ？

GM ええ、それもバチバチの、ね。スパイ活動とか、破壊工作とか、お互いにヤバイこととしています。

六道嵐 うへ～。

GM ただ、どちらかといえば、宝城財閥のほうがクリーンですね。人体実験とか“今は”していないので。

六道嵐 “今は”？

GM つい半年前までは、あまり良くない噂のあった企業でしたが、宝城イリスが宝城ファクトリーの社長に就任してからは、そういった噂を聞かなくなりました。噂によれば、死んだ前社長や、その派閥の人たちを次々と更迭したという話です。

六道嵐 綱紀粛正したってことか？

GM どうやら、そのようです。そのため、追い出された派閥の人たちからは恨まれているという感じですね。

六道嵐 さもありなん……あ、もしかして、その派閥の連中が国式製薬に行ったり、とか？

GM ご明察です。なので、さらに関係が悪化しているというわけです。

六道嵐 大変だなあ、社長とか。普通に寿命縮みそうだ。

GM／イリス 我々は、この真偽を確かめたい。つまるところ、“本当に”

〈クロノバイザー〉が二つあるのか？　そして、もし、二つあるのなら、それはうちの科学者の“ある推論”を裏付けることとなる。

六道嵐　ある推論？

GM／イリス　——いかがでしょう？　どうか協力させていただけないでしょうか？

GM　メロウはそう言われると、あなたのほうを見ますが？

六道嵐　いや、俺に意見を求められてもな……黙って肩をすくめる。「あ、一つだけ確認していいか？」と宝城イリスに言う。

GM／イリス　はい、为什么呢？

六道嵐　それ、使えるのか？

GM／イリス　〈クロノバイザー〉のことなら、いいえ。どうやら、同化や起動には条件があるらしく、現状、使うことはできません。

六道嵐　じゃあ、メロウのほうを向いて、「条件、知ってるか？」と訊いてみるけど。

GM　さすがに知らないですね。見るのも初めてでしょうし。

GM／イリス　これを使いたいのですか？

六道嵐　ああ、少し確かめたい過去があってね。できれば一度だけでも使わせてもらえないかと……。

GM／イリス　もちろん、構いません。返していただければ、ですが。

六道嵐　それは約束しよう。一度だけでいいんだ。

GM／メロウ　協力の件、私に断る理由はありません。むしろ助かります。

GM／イリス　では、調査にはこの早乙女を同行させます。

GM／早乙女　よろしくお願いします。

六道嵐　実力は？

GM　フォボス10LV。

六道嵐　サイボーグか。

GM／イリス　実力は折り紙つきです。保障しましょう。

GM／メロウ　ありがとうございます。

GM／イリス　ところで……〈DUST〉内にいるであろう〈ドミニオン〉については、何かわかりましたか？

GM／メロウ　……いいえ、現状、なんの情報もありません。唯一、七生剣治が知っている可能性があります、素直に情報を吐くとは思えず……正直、手詰まりです。

六道嵐　本当にノープランか、こいつ（笑）。

GM　いえいえ、七生剣治を挑発し、怒らせて戦闘、という華麗な流れですよ。

六道嵐　そういうのはプランとは言わねーな。証拠もないのに襲ったとなれば、それこそ面倒なことになるし。

GM／イリス　では、こちらが掴んでいる情報をお渡ししましょう。

GM／メロウ　情報？　何か掴んでいるのですか？

GM／イリス 〈ドミノオン〉が誰か、まではさすがに分かりません。しかし、国式製薬の企業工作員と接触していた〈DUST〉職員なら知っています。

GM／メロウ 企業工作員？

GM／イリス ええ。表向きは普通の社員と変わらないのですが、裏では合法なことをしている連中です。先日、そんな工作員と密会をしている〈DUST〉職員がいましたね……。

GM／メロウ 誰です？

GM／イリス 写真があります。ご確認ください。

GM と、一枚の写真をメロウに渡します。

六道嵐 俺も覗き込んでみるが？

GM では、写真にはスーツ姿の男性と、同じくスーツ姿の女性が写っています。そして、その女性を見て、メロウが「まさか……彼女が……？」と驚いています。

六道嵐 誰だ？

GM／メロウ 小隊を率いる小隊長です。名前は「一之瀬みなと」、数々の〈ドミノオン〉を無力化してきた傑物ですよ。彼女が〈ドミノオン〉などと……信じられません。

GM／イリス まあ、彼女が〈ドミノオン〉かどうかは把握していません。少し調べてみたところ、国式製薬との繋がりには特にはないはずなのに工作員と接触していた。怪しい人物であることに違いはないでしょう。

六道嵐 ……男のほうは？

GM う～ん……？ 特にこれといった個性のない、どこにでもいるようなサラリーマン——という風貌です。こう、まったく印象に残らないという感じですね。

六道嵐 ふむ？

GM／イリス まあ、何かのお役に立てれば幸いです。

GM／メロウ ええ、大変有用な情報でした。感謝します。

GM ——というところで、嵐。

六道嵐 あん？

GM あなたのスマホの着信音が鳴ります。

六道嵐 じゃあ、「失礼」と言いながらスマホを取りだして画面を見るぞ。誰からだ？

GM 「天道銀子」と表示されています。

六道嵐 銀子さん？ 出るぞ。「もしもし？ 何かありました？」

GM／銀子 嵐くん！ 出たのよ！

六道嵐 はい？ 出た、とは？

GM／銀子 七生剣冶だよ！ 彼、旧市街の鏡部家屋敷に現れたみたい！
今、退魔師協会の〈覚醒者〉たちと交戦中だって！

六道嵐 七生剣冶が？ 分かりました、俺もすぐに向かいます。

GM／銀子 間に合う？

六道嵐 《鳥船》ならすぐにいけるはずです。そうだな、GM。

GM まあ、以前のセッションで伐上市マップが10km四方って言っちゃいましたからね。一瞬でいけます。

GM／メロウ 七生剣冶が現れたのですか？

六道嵐 俺は電話を切ってから、「ああ、そうらしい。旧市街の鏡部家屋敷だ」

GM／メロウ 私も行きます。

GM で、宝城イリスも「レイ、あなたも向かいなさい」と言い、早乙女レイが「はい」と答えます。

六道嵐 俺の能力で移動する。一旦、屋外に出るぞ。

GM／イリス では、この建物の屋上をお使いください。

六道嵐 助かる。屋上に移動するぞ。

GM では、早乙女レイが「こちらです」と言い、あなたとメロウを先導します。

GM／メロウ それでは。

GM／イリス お気をつけて。

GM ——というわけで、屋上です。

六道嵐 じゃあ、《鳥船》を使うぞ。メロウと早乙女さんも運べるよな？

GM ええ。問題ありません。

六道嵐 じゃあ、《ルーラ》！

GM 違う違う（笑）。いや、効果はほぼ一緒だけど！

* * *

GM では、《ルーラ》もとい《鳥船》であなたとメロウ、そして早乙女レイは鏡部家屋敷に瞬時に移動します。

六道嵐 どこにいる？

GM まずは描写から。移動したのは鏡部家屋敷の広い中庭です。敷地内には建物がいくつかありますが、それらが盛大に破壊されているのが見て取れます。そして、中庭には十数名の男女が倒れており、ここで戦闘が行われたことが分かるでしょう。そして、中庭のほぼ中央に一人の男が立っています。

六道嵐 七生剣冶。

GM はい。嵐の知ってる顔です。なにやら上機嫌な様子で笑っており、突然現れたあなたたちにも驚いた様子はありません。で、それを見たメロウが「ついに本性を表しましたね、〈ドミニオン〉！」と言います。しかし、七生剣冶はそれを無視して、嵐へ笑いかけ、こう言います。

GM／七生 よお……ずいぶんと変わっちゃったなあ、嵐。

六道嵐 師匠……お久しぶりです。特に感情を表に出さずに挨拶するぞ。

GM／七生 ああ、何年ぶりだっけか？ 最後に会ったのは、おめえが中坊

のときだったかな、確か。

六道嵐 免許皆伝のときでしたね、最後に会ったのは……。

GM／七生 そうそう、そうだった、そうだった。

六道嵐 師匠は、ここで何をしていますか？

GM／七生 なぁに、退魔師協会のクソどもを試していたのさ。昔とどれくらい練度が違うのかってね。

六道嵐 それで、結論は？

GM／七生 ま、及第点ってところかな。相変わらず、お行儀のよい戦法なのはいただけないが……さすがに、おめえみたいには行かないか。

六道嵐 ……………。

GM／七生 安心しろ。誰も殺しちゃいねーよ。今回は、目的が違うしな。

六道嵐 目的？

GM／七生 知ってんだろ？〈クロノバイザー〉だよ、〈クロノバイザー〉。オレ、今はバチカンの執行者なんだぜ？

六道嵐 ……〈ドミノオン〉だと聞きましたが？

GM／七生 まあな。

GM／メロウ やはり、そうなのですね。

六道嵐 隠さないんだな？

GM ええ、隠す気ゼロみたいですね、七生剣冶は。

GM／七生 公然の秘密ってやつでな。知ってるか？ バチカンには〈ドミノオン〉が紛れ込んでいるんだ。一人二人ってわけじゃないぞ？ たくさん、だ。

六道嵐 ……みたいですね。

GM／七生 〈DUST〉が設立されるはるか以前から〈ドミノオン〉はバチカン内部に潜りこんでいた。〈ディバイン・チルドレン〉との抗争があっても、それは変わらなかったようだ。

六道嵐 で？ それと鏡部家屋敷を襲った理由は？

GM／七生 おめえの事件と同じだよ、六道嵐。

六道嵐 ？

GM／七生 九年前、おめえの家が襲われた理由、知ってるか？

六道嵐 ……知ってるのか、GM？

GM 明確な答えは知りませんが、六道家の家宝が奪われたことは知っていますね。

六道嵐 家宝？

GM 六道家に代々伝わる共生武装〈六閃刀〉と、赤と青の謎の魔結晶です。

六道嵐 初耳なんだが（笑）。

GM 〈六閃刀〉については以前、話したと思います。

六道嵐 赤と青の魔結晶というのは？「起動」と「終了」の石か？

GM それは元ネタです（笑）。赤と青の魔結晶については謎です。六道家も、それが何なのかは理解できていませんでしたし、現在に至っても分かつ

ていません。ただ――。

六道嵐 ただ？

GM ――おそらく、何らかの《悠久不滅》ではないか？ とは言われていました。

六道嵐 《悠久不滅》？ 元〈荒神憑き〉か？

GM あるいは、元〈覚醒者〉か……いずれにせよ、その正体は不明です。ただし、六道家が始まった平安時代から、すでに存在していたのは確かなようです。

六道嵐 ふうむ……？ じゃあ、「俺の事件と同じ？ 鏡部家に〈クロノバイザー〉があると？」と訊いてみよう。

GM／七生 そう思っていたんだが……どうも当てが外れたようだ。ここにはないらしい。

六道嵐 ……待て。〈クロノバイザー〉が伐上市にあるというのは確かなのか？

GM／七生 ああ、しかも、だ。持ち込まれたのは2010年。奇しくも、六道家襲撃事件と同じ時期だな。

六道嵐 ……2010年。

GM あなたの隣でメロウが「六道家襲撃事件？」と呟きます。

六道嵐 あとで説明する。

GM／七生 持ち込んだ人物も特定されてはいるんだが……不審な点が多くてな。

六道嵐 不審、というのは？

GM／七生 2009年にバチカンを襲撃した犯人だよ。表向きはなかったことにされた事件なんだけどな。

GM／メロウ ……“エニグマ”。

六道嵐 知ってるか、メロウ。

GM／メロウ 昔、資料を読んだことがあります……〈クロノバイザー〉を盗んだというのは初耳です。

GM／七生 ま、どうぜアレだろ？ バチカンの執行者を何人か殺害し、逃亡――みたいな内容だろうが……どこかで聞いたような話だよなあ、嵐。

六道嵐 ああ、アンタみたいだな。

GM と、話していると、屋敷の中から女性が一人出てきて七生剣冶の隣に立ちます。

六道嵐 誰だ？

GM 見たことのない女性です。

GM／七生 どうだった？

GM／女性 やはり、ここにはないようですね。彼らは？

GM／七生 なあに、オレのことを殺そうとしている奴らさ。

GM／女性 ……ほう？

GM それを聞き、女性は剣呑そうにあなたたちのほう睨みます。

六道嵐 戦闘か？

GM／七生 こいつらの相手はお前に任せるぞ。ちなみに、あの男が“六道嵐”だ。

六道嵐 ん？

GM 女性は、「ほう？ あれが……」とあなたを見て面白そうな顔をします。そして、七生剣冶は「じゃあな、嵐。また、機会があれば話そうじゃないか。こいつに勝てたら、だけどな」と言って去ろうとしますが、何か言いますか？

六道嵐 「逃げるのか？」少しからかう感じで挑発しよう。

GM では、その挑発にはニッと笑い、「必要なら逃げることでしてさ。おまえにも教えてあげよう？ あらゆる手段をとれってね」そして、《鳥船》の魔結晶をパリーンッ！《ルーラ》！

六道嵐 自分で《ルーラ》って言っちゃった！？

GM 七生剣冶はどこかに消えました。メロウなんかは「待て！」みたいなことを言うのかな？ まあ、待たないんですが。

六道嵐 せやな。

GM そして、そうだなあ……ここで【感覚】【幸運】あるいは[知覚][直感]判定をどうぞ。目標値は「30」です。

六道嵐 げっ、《テンタクル》ってことは、伏兵か！？

GM さて、どうでしょうね？（笑）

六道嵐 異形化してもいいか？

GM あ、そうですね。なら、ここから戦闘処理に入りましょうか。

【1ターン目 ターン開始時】

六道嵐 異形化するぞ。

GM こちらは悪魔化します。メロウも悪魔化、早乙女レイはそのままですね。

六道嵐 サイボーグだからな。

GM そのとおりです。というわけで、判定をどうぞ。

六道嵐 （ころころ）「24」か……振りなおす。（ころころ）うっそ〜ん！？（←ファンプル）

GM どうします？ 振り直しますか？

六道嵐 振りなおそう。（ころころ）今度はクリティカルかよ！

GM 極端ですね。では、嵐は気づきます。伏兵がいますね。地面から染み出すようにニョキニョキ生えてきます。《テンタクル》の効果で、伸縮自在なのでできる芸当です。

六道嵐 何体？

GM おっと。ここで特殊な処理となります。これら雑魚は、メロウと早乙女レイが担当してくれますので、嵐はこの女性——ネージュというんですが

——との戦いに集中できます。

六道嵐 あ、なるほどね。

GM なので、〔知識：荒神憑き〕判定は、ネージュだけで構いません。残りのエネミーは、適当にスレイブの何かでしょう。何でもいいです。

六道嵐 目標値は？

GM ネージュの目標値は「20」です。

六道嵐 （ころころ）「21」成功。

GM では、ネージュは“レギオン・クレインクイン”10LVです。

六道嵐 レギオンか……。

GM データは『デモンパラサイト』準拠となっています。成長ルートは、LV10-4【アナザーセルフ】。全部、上ルートですね。

六道嵐 はあ？ 射撃戦タイプ単独とか……（苦笑）。

GM あと、ネージュは〈マイト〉ですので、振り直しをします。

六道嵐 ふむ？ ということは、俺にとって殺すべき対象ではないな。

GM 師匠も師匠なら、弟子も弟子だな（笑）。振り直しなんですが、固定値を使うので、1回の判定に1回のみ、固定値が「+11」から「+14」に変更されるものとします。

六道嵐 了解。

GM あとは……そうだなあ、これ気づいてもいいか。

六道嵐 ん？

GM ネージュの変身前【エナジー】ですが、「40」となっています。

六道嵐 ん？ 高くね？

GM さらに、追加【エナジー】も何故か「40」ですね。

六道嵐 はあ？（『ディアボロス・ユニオン』をパラパラめくる）上ルートは、追加【エナジー】60だぞ？

GM ええ、何故でしょうね？

六道嵐 う～ん……？

GM あとは……そうそう、ドミノオン能力を一つ持っています。《支配の旋律》、不利な状態変化を解除する能力ですね。

六道嵐 一個だけか？

GM はい。これくらいかな……あとは、「始めまして、六道嵐。わたしはネージュ。以後お見知りおきを」とネージュが言います。

六道嵐 俺のこと知ってるのか？

GM／ネージュ ええ、主から聞いております。

六道嵐 ほう？ どんな風に？

GM／ネージュ こと殺人技術だけなら世界でも五指に入るとか……。

六道嵐 はは、あっそう。

GM で、メロウが「こちらはお任せください」と言って雑魚の掃討に入ります。早乙女レイも「では」といって戦いを開始します。

六道嵐 んじゃ、俺らも始めますか。

GM では、「タイミング：ターン開始時」の特殊能力を使ってください。ネージュは《疾風迅雷》を使用し、【行動値】を「15」、「通常」行動での移動距離を2倍にします。

六道嵐 俺は《光羽招来》で「飛行」状態になる。（ころん）【行動値】は「27」だ。

GM 早い（笑）。

六道嵐 あと、さっきの〔知識：荒神憑き〕判定で衝動が第1段階になっていた。

GM なら、今振ってください。

六道嵐 （ころころ）「7」で『沈静』。【エネルギー】が3点回復した。〈タラリア〉の分が回復したぞ。あ、〈ストームブリンガー〉は起動していない。

GM しないんですか？

六道嵐 ああ。〈奇魂〉は「鬼斬り」と「龍眼」を起動した。回復はセットした《ドレイン》でやるつもりだ。

GM 了解です。では、【行動値】と「行動順番」の確認です。ま、そちらから行動ですね。あ、彼我の距離は5mとします。

六道嵐 おう。ま、普通に攻撃するか……《威力強化》《業の一撃》で瞬時に3m移動して、肉弾攻撃。（ころころ）「31」だ。

GM うん、振りなおしても無理（笑）。

六道嵐 ダメージは、（ころころ）「55」点だ。

GM いってえ！（笑）いきなり追加【エネルギー】剥げた。

GM 次は、こちらです。「接近」状態じゃ何もできん（笑）。《タクティカルムーブ》を使用してから、まずは8m後ろに移動して「接近」状態を解除。さらに《生体重火器》を使用して、大型のライフル銃のような射撃武器を生成します。そのまま《ダブルムーブ》です。まずは1回目の攻撃。《全弾炸裂》を使用。命中を振りなおして、「29」で避けてください。

六道嵐 （ころころ）クリティカルで回避。

GM そんなあっさり……（笑）。では、2回目の攻撃は《超音速射撃》です。こちらを振りなおして「34」で回避してください。

六道嵐 （ころころ）「34」同値回避。

GM え〜？

【1ターン目 ターン終了時】

GM ターン終了時です。「くっ、さすがに強い！」とかネージュが言ってるかもしれません。

六道嵐 ふっ、己の強さが怖いぜ。

GM 「タイミング：ターン終了時」の特殊能力があれば使ってください。

六道嵐 俺はパス。

GM こちらもパスします。「時間：1ターン」の特殊能力は解除され、衝動の副作用は特に何もなし。以上ですね。

【2ターン目 ターン開始時】

GM では、2ターン目です。「タイミング：ターン開始時」の特殊能力があれば使ってください。こちらはパスです。

六道嵐 俺もパス。《光羽招来》の持続時間は3ターンだし。（ころん）
【行動値】は「25」だ。

GM では、そちらから行動してください。

六道嵐 じゃあ、《威力強化》《業の一撃》で6m移動してから、肉弾攻撃。（ころころ）ファンブルー！ 振りなおす。（ころころ）「29」だ。

GM 当たってますね。

六道嵐 ダメージは、（ころころ）「53」点。

GM では、こちらの【エネルギー】がマイナスになったので、戦闘終了です。

* * *

六道嵐 案外、弱かったな……《魔種吸引》するぞ、GM。

GM おっと、その前に演出が入ります。

六道嵐 演出？

GM 本来、【エネルギー】が0以下になったキャラクターは気絶するのですが、ネージュは不敵に笑っています。

六道嵐 なんだ？

GM／ネージュ なるほど。これが六道嵐……主の言うとおりの、凄まじい力です。

六道嵐 おまえ、どうして気絶しない？

GM では、そう言っていると、ネージュの体が砂のようにゆっくりと崩れていきます。

六道嵐 なに？

GM／ネージュ やはり、真正面からの戦いはこちらが不利。あなたの力は、すでに我が主さえも超えている……。

六道嵐 まあ、たぶん一対一の肉弾戦なら誰にも負けないと思うぞ？

GM／ネージュ うらやましい。しかし、そうも言っていられませんね。主には主の目的がありますから……。

六道嵐 あいつの目的って、〈クロノバイザー〉じゃないのか？

GM／ネージュ いいえ、〈クロノバイザー〉“も”、主の目的です。

六道嵐 “も”か。

GM では、最後にネージュは「それでは。また機会があればお会いしま

しょう。できれば会いたくはないですけどね」と言って、完全に崩れ落ちます。

六道嵐 ……なるほど、《複製身》だな？ だから【エネルギー】が40だった、そうだろう？

GM 正解です。さらに言うのなら、追加【エネルギー】は《体力増強液》の魔結晶で擬似的に獲得していました。

六道嵐 コピー体ってわけか……。

GM メロウと早乙女レイのほうも雑魚を狩り終えて戻ってきます。

GM／メロウ どうやら、分身だったようですね……。

六道嵐 ああ、そっちは？

GM／早乙女 こちらは分身ではありませんでした。

GM／メロウ ええ、すでに《魔種吸引》も終わっています。

六道嵐 はあ……とりあえず、怪我人とか診るか……。

GM 中庭に倒れている人や、屋敷の中の人、怪我をしていたりしますが、命に別状はありません。

六道嵐 ……リーダーはどうした？

GM 鏡部輪廻は今、学校にいるでしょうね。

六道嵐 そうか、今日は平日か……。

GM／メロウ どうします？

六道嵐 一応、銀子さんに連絡——は行ってるのかな、もう？

GM では、しばらくすると、増援と共に天道銀子が現場に駆けつけます。

GM／銀子 嵐くん！ 無事？

六道嵐 まあ、見ての通りです。ノーダメ。

GM／銀子 そっか……さすがだね。助かったよ。

六道嵐 いえいえ。七生剣冶は逃げちゃいましたし。

GM／銀子 ううん、ホント助かったよ～、今度、お姉さんが焼肉おごってあげる～。

六道嵐 わあい、銀子さんと焼肉だ～（←うれしそう）。

GM 嬉しそうっすね（笑）。

六道嵐 美人と焼肉屋に行くのは、なかなかいいと思います（敬語）。

GM さて、とりあえず、導入部分はこんな感じですかね。少しだ長引きましたが、ようやくここから本編です。

六道嵐 詰め込みすぎな感じもあったが、仕方ないのかな。

GM いやあ、まあ、うん。しゃーない。というわけで、倒されて《魔種吸引》されたスレイブたちは調停者会議——いや、〈DUST〉に連行されて事情聴取を受けることでしょう。

六道嵐 たぶん何も覚えてなさそうだけどな……。

GM 何にせよ、導入は終了です。少し休憩に入りましょうか。

六道嵐 おつかれ～。

（つづく）